

# ななお市議会だより

平成17年第4回(12月)定例会

●七尾市議会事務局 ●編集／議会だより編集委員会

市議会議員選挙後、最初の定例会が開催される

旧かんぼの宿跡地

## 平成17年第4回市議会定例会の概要

### ●12月5日(月) 本会議

平成17年第4回定例会が招集され、会期を15日間と決めた。平成17年度一般会計補正予算として、5億8,339万7千円及び6つの特別会計と企業会計の他、改正条例案を含め議案16件、法人の経営状況の報告2件が上程され、提案理由説明が行なわれた。

### ●12月9日(金) 本会議 ●12月12日(月) 本会議

2日間にわたり、一般質問に18名の議員が質問に立ち、市政や議案に対する質疑・質問が行なわれ、活発な論議が交わされた。

### ●12月14日(水) 常任委員会

3つの常任委員会において、付託された議案について委員会審査が行なわれた。

### ●12月19日(月) 本会議

各常任委員長から委員会における審査の経過と結果が報告され、採決を行なった結果、議案が全て可決された。その後、追加議案3件及び同意案2件の提案説明が行なわれ、常任委員会審査を経てから採決を行ない、全て可決及び同意した。また、七尾市議会議員定数条例及び意見書、計5件の議会議案が提出され、全てが可決された後、市議会定例会を閉会した。



12月9日と12日に一般質問が行なわれました。  
2日間で18名の議員が質問に立ち、議案や市政に対する質疑・質問が行なわれ、活発な議論が交わされました。

## 一般 質問

# 質疑・質問事項（実施順）

### ◆伊藤 正喜 議員（無所属）

- ①行財政改革プラン策定と平成18年度予算編成
- ②旧かんぼの宿跡地利用と和倉温泉を中心とする観光活性
- ③児童・生徒の安全確保の方策
- ④新型インフルエンザ・パンデミックへの対策と国県との連携
- ⑤保育園統廃合・民営化と小中学校統廃合の考え方
- ⑥建築物の安全性

### ◆荒川 一義 議員（無所属）

- ①平成18年度当初予算編成にあたり
- ②新年度の行政組織・機構や配置
- ③官業の民間開放をどう進めるのか
- ④観光振興における和倉温泉の取り組み
- ⑤地籍調査事業の導入
- ⑥朝日中学校の早期建設

### ◆松本 精一 議員（無所属）

- ①ノロウイルス対策
- ②市職員の給与削減
- ③指定管理者制度
- ④仮称市民交流センター

### ◆池岡 一彦 議員（無所属）

- ①七尾氷見道路の利活用
- ②市職員の給与削減
- ③エコ事業への対応
- ④七尾鹿島広域圏

### ◆議員 和典 議員（日本共産党）

- ①国民健康保険税
- ②七尾市子ども医療費助成制度
- ③介護保険制度の改善
- ④市内循環バス「まりん号」の路線拡大
- ⑤東湊小学校の通学路整備
- ⑥「旧かんぼの宿」跡地取得
- ⑦七尾短大跡地の利活用

### ◆杉本 忠一 議員（無所属）

- ①新七尾市の「武元市政」の目指すところの市民へのわかりやすい説明
- ②助役の2人体制
- ③平成18年度予算要求枠の設定（市単独事業、一般行政経費、公債費）
- ④条例改正まで行なった勸奨退職
- ⑤ケーブルテレビの整備事業
- ⑥駅前第二再開発ビル

### ◆桂 撤男 議員（無所属）

- ①行財政改革プランの進め方
- ②能登島地区でのスローライフによるまちづくりの支援策

### ◆杉木 勉 議員（無所属）

- ①七尾市の農業・農地

### ◆伊藤 厚子 議員（公明党）

- ①男女参画まちづくり
- ②子どもの登下校の安心・安全を見守るネットワークづくりの強化
- ③行財政改革プラン（案）
- ④「事業仕分け」作業による歳出削減
- ⑤高齢者虐待防止法への対応
- ⑥旧かんぼの宿跡地利活用事業

### ◆瀧音 弘信 議員（無所属）

- ①国道249号バイパスの側道とアクセス道路の整備状況
- ②平成18年度当初予算の編成方針

◆木下 敬夫 議員（無所属）

- ①七尾市の建設業界 ②一本杉商店街の石畳道路の延伸計画への取り組み
- ③川原松百線の小島地内への開通見通し ④映画「釣りバカ日誌17」

◆古田 秀雄 議員（無所属）

- ①平成18年度予算の編成方針 ②「七尾市国民保護計画（案）」の策定
- ③七尾港の物流機能強化策 ④改正介護保険制度 ⑤ごみ減量化と廃棄物の再資源化
- ⑥教職員の人事考課制度の導入

◆瀧川正美智 議員（自由民主党）

- ①幹線道路網の建設促進

◆岡部 俊行 議員（無所属）

- ①行財政改革プラン（案） ②七尾型グリーン・ツーリズムの実現 ③自治体間交流事業の推進

◆政浦幸太郎 議員（無所属）

- ①行財政改革プラン（案）と新市建設計画の整合性 ②西湊地区圃場整備に係る監査要求後の経過
- ③市発注工事における指名競争入札参加者の選定

◆杉森 克夫 議員（無所属）

- ①支所の機能強化及び権限の明確な表示
- ②行政の発行誌及び発刊物への企業スポンサーの導入検討 ③災害に強いまちづくり

◆木下 孝輝 議員（自由民主党）

- ①行財政改革プラン ②駅前第二再開発ビル建設に伴う現在の中央図書館の位置づけ
- ③徳田地区から出ている大規模開発による農地転用願いの進捗状況

◆中西 庸介 議員（自由民主党）

- ①安心して安全に暮らせるまちづくりの構築
- ②加賀・能登の格差是正と能登有料道路の完全無料化への状況 ③行財政改革プラン（案）

## 助役の2人体制について

### ●もう1人の助役の登用時期について



欠員になっているもう1人の助役について、どの時期での登用を考えているか。また、県との関係強化を図る必要性を含め、県からという考え方もあるが、どう考えているか。



大変厳しい財政状況でもあるので、具体的に言うことは出来ないが、慎重に対応していきたい。



市長は、助役2人制の条例案を提出した昨年2月の臨時会で、「助役を1人増やすことによる報酬の増額以上に、助役の仕事が住民のために役立ち、これ以上の効果、成果があるものと考えている」と答弁していました。

# 平成18年度予算について

## ●平成18年度予算でのまちづくり計画の重点施策について



市長は2期目の中間点に立ち、市長独自の新たな事業に取り組むときにさしかかっていると考えるが、予算編成にあたって、新市まちづくり計画の中でどのように独自色を打ち出していくのか。



基本的には財政改革が最優先課題である。そして、地域の活性化、とりわけ産業振興がなければ歳入が増えないし、雇用が増えないわけだから、地域産業の活性化が必要である。また、施策を進める上で、市民が自立し、行政とともに参加してもらえようとする市民の意識改革、同時に職員の意識改革もしていかなければ、地域間競争に勝ち残れないと考えている。そういう意味で、財政再建が第1点で、地域産業の振興、活性化が第2点、そして人づくり、教育が第3点目と考えている。



市長は昨年の9月定例会において、子育てについては、「将来の地域づくりの大事な部分であるから行財政改革の対象外にして取り組む」と答弁していました。

# 行財政改革プランについて

## ●行財政改革プラン策定の今後の予定と市長の方針について



行財政改革プランについて、どのような予定を持って、どのような方針で作っていくのか。そして、市長がどのような姿勢で臨むのか。



行財政改革プランを1月末までに決定し、平成18年度当初予算に組み込んでいきたい。行財政改革は市の抱える最大の緊急課題であり、全ての施策の優先施策として取り組んでいきたい。行財政改革は行政だけで出来るものではなく、地域挙げての共同作業と考えている。私は市長という立場でこれを市民に示すと同時に、協力を願わなければならない立場である。また、このことは将来の市の大きな課題であり、中途半端な改革をしていたのでは財政再建団体に陥るという危機感のもとで、積極的に取り組んでいきたい。



## ●行財政改革プラン確立までの具体的な方法について



行財政改革プラン案についての説明会において出された市民の意見をどのように汲み上げてプランに反映させていくのか。また、市民に納得してもらうために、具体的に何をどのようにするのか。



意見の取りまとめ、更には市民アンケートを実施していきたいと考えている。説明会の参加者が非常に少数であるので、もっと広く市民の意見をもらいたいと考えている。また、そういった意見をもとにして行財政改革の推進委員会や庁内における行財政改革の本部会議で議論をして、1月末にはプランとしてまとめて、平成18年度当初予算に具体的に盛り込んでいきたい。

**!** 市民アンケートは1月に実施。

## 「事業仕分け」作業による歳出削減について

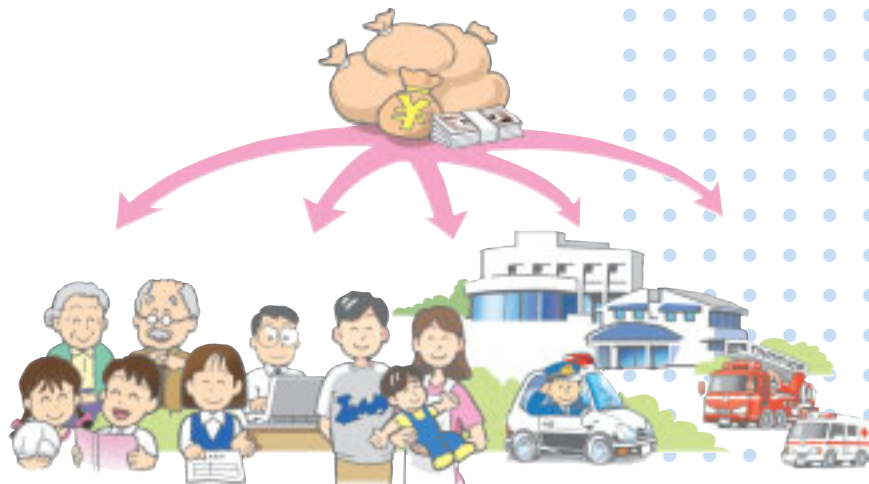
### ●「事業仕分け」作業に取り組み、歳出削減に取り組めないか



国に先駆けて、8県4市の自治体では徹底した歳出削減のための手法として、事業仕分けを実施したが、七尾市でも同様に実施し、必要な事業には十分な予算を使う一方、無駄な事業はなくすことでメリハリをつけ、真の意味での行財政改革の端緒を開いてもらいたいだろうか。



事務事業の見直しは避けて通れないわけであり、これまでもやっていたが、これからも重ねてやっていかなければならない。基本は単なる施設や経費の削減だけではなく、行政そのものを1つの経営という捉え方でいかなければならないと考えている。改革をした結果として住民に満足してもらえるような行政サービスが出来、またそのことが行政の仕事として十分評価されるものでなければならない。いずれにしても、改革と同時に経営という視点からも、こういった問題に取り組んでいきたいと考えているので、そのことが指摘のような仕分け作業の中に入ってくるのではないかと考えている。



# ノロウイルス対策について

## ●ノロウイルスに関する現在の状況、経済的損失と対策について



11月21日に行なわれた養殖ガキの出荷前検査において、2海域でノロウイルスが検出され、全域が生食用ではなく加熱用としてしか出荷出来なかった。その後の検査では検出されず、現在は正常出荷に戻ったとのことだが、この間の経済的損失は大きいものがあると考えられる。これらに関する一連の経緯と現状の説明と対策を示せ。



11月21日の検査結果を受け、西湾漁協が28日に再検査を行なったところ、12月2日に陰性という結果が出ており、それ以降は生食用の出荷を再開している。現在、出荷量はもとへ戻っていると聞いているが、ノロウイルスが検出されたことによる影響はかなりあり、出荷量と価格がかなり下がったため、地元の生産者にとって大変大きな打撃であったと聞いている。11月末にかけて価格が下がり、引き取り量が減っていることが市場の数字としても出ている。しかし、12月5日頃から出荷量もこれまで以上に出ているし、値段ももとに戻っている。対策については、情報を開示していく中で、消費者に安心して食べてもらうということで理解を得るしかないと考えている。

# 市職員の給与削減について

## ●市職員の給与3%削減について



平成17年度当初予算の提案理由説明であった市職員の給与3%削減について、本年6月から7月にかけて交渉が持たれた形跡がない。市民の公僕であるはずの職員に対してなぜ理解が得られないのか、その経過と結果についてはどうか。また、当初予算の中で3%削減の人件費が折り込まれているが、この間に至った財源を今後いかに捻出していくのか。



本年2月に職員給与3%削減の件を組合に申し入れし、今日まで継続して交渉してきた。その間、組合も職員に対する理解と協力を得る形で日数を要したが、12月5日に合意に達した。従って、来年の1月から実施に向けて所要の規定を設けた条例案を今議会に追加提案したい。予算についても4月から12月分の職員費の変更、あるいは人事院勧告に基づく給与改定を含めて補正予算案をあわせて提案したく、準備をしている。



その後、最終日に市職員の給与3%削減の条例案が提出され、賛成多数で可決されました。

## 幹線道路網の建設促進について

### ●能越自動車道の供用開始時期について



能越自動車道の竣工時期について、今日あいまいに感じているが、実際、いつに向けて供用開始を考えているのか。



現在、七尾・氷見道路、七尾区間13.6キロは、一部着工しているが、平成20年代前半には供用開始をしていきたいと国土交通省から聞いている。

## 映画「釣りバカ日誌17」について

### ●青柏祭デカ山をロケに入れるための トップセールスについて



交流人口の更なる拡大に向けて、七尾の心意気を感じられる青柏祭デカ山を映画「釣りバカ日誌17」に取り上げてもらいたいと強く感じるとともに、市民の総意としてデカ山保存会の会長である市長に、ぜひとも松竹株式会社へトップセールスをしてもらいたいがどうか。



基本的には七尾市としては、能登全域のロケ支援の委員会の責任市ということになり、七尾市だけが優先的に七尾を何とかということは、非常に難しい立場である。同時に、観光映画を作るのではないということ等もあり、松竹としては個別の要望や意見は基本的には聞かないという姿勢である。よって、トップセールスは非常に難しいし効果が期待出来ないと考えているので、今のところそのつもりはない。

# 和倉温泉旧かんぼの宿跡地の取得について

12月定例会において、和倉温泉地内で未使用の状態となっている、旧かんぼの宿跡地を取得するための予算案が提出され、可決されました。

ここでは、そのことに関する全員協議会での説明について報告します。

## ◎全員協議会での執行部の説明

12月5日に開催された全員協議会の席上で、用地取得を含めた全体の事業概要が説明されました。事業については、旧かんぼの宿跡地を取得し、健康増進施設「足湯パーク」として活用するというものです。以下、その目的や事業費等について、概要を示します。

### ◆事業の目的

- ・豊かな自然、海・温泉を活用し交流人口を増やすことにより、七尾をより魅力的な地域とし、観光拠点化を図ります。
- ・市民の健康増進のための施設とし、ゆとりと癒しの空間を作り、心身ともにリフレッシュ出来る施設とします。
- ・和倉温泉開湯1,200年の記念事業として地元の熱い要望もあり、全国から能登空港を利活用し、交流人口を更に増やします。
- ・民間企業等の開発によって、七尾・和倉のイメージを低下させるような事態は避けたい。



※上記のうち、旧職員宿舎と旧ゲートボール場を公売し、合併特例債の償還財源に充てる予定です。上記の事業費は、そのことを見込んで組まれています。



◆全体の事業費

(単位:千円)

事業名	事業内容	全体事業費		
		事業費	合併特例債	一般財源
用地購入費分	A=26,404.15	370,642	309,000	61,642
施設整備分	足湯パーク等	100,000	95,000	5,000
合計		470,642	404,000	66,642

◆旧かんぼの宿跡地整備事業（市負担分）一覧表

(単位:千円)

項目		平成17年度	平成18年度	小計 (平成26年度まで)	平成27年度 以降	合計
支	用地購入費分	61,642		61,642		61,642
	足湯パーク整備事業分		5,000	5,000		5,000
	事業費一般財源計	61,642	5,000	66,642		66,642
出	合併特例債元利償還金		1,552	59,774	89,516	149,290
	計(A)	61,642	6,552	126,416	89,516	215,932
収入	和倉温泉寄付金		129,422	129,422		129,422
	和倉まちづくり基金繰入金					
	用地売却による収入(B)					
収支(B-A)		△61,642	122,870	3,006	△89,516	△86,510

今後10年間に負担する額(平成26年度まで) **126,416千円**

上記に充当出来る額 **129,422千円**  
(和倉温泉からの寄付金及び土地売却による収入)

よって、今後10年間は寄付金及び用地売却収入で賄える見込み

年間平均約720万円の  
負担となります。  
(平成38年度まで)

※合併特例債は、対象事業費の概ね95%を充当することが出来、更に償還金の70%が地方交付税で補填されるという、通常よりも有利な地方債です。つまり、 $95\% \times 70\% = 66.5\%$ が措置されますので、対象事業費の33.5%プラス利息だけが市の負担となります。

夕日の見える展望スポット

ジョギング  
コース  
(散策路)

※旧ゲート  
ボール場

※その後、2月臨時会において、旧かんぼの宿跡地を取得価格3億6,800万円で、日本郵政公社から取得する議案が提出され、可決されました。これにより、正式に旧かんぼの宿跡地を取得することが決まりました。

# 次回一般選挙からの市議会議員定数について

12月定例会において、「七尾市議会議員定数条例」が、議員提案により提出され、賛成多数により可決されました。

このことにより、次の一般選挙からは、**議員定数を22人とし、かつ選挙区を廃止して全市による選挙を実施することになりました。**ここでは、その決定までの経過と結果を報告します。

## ◎次回一般選挙における議員定数決定までの経緯

12月1日

### ●議会運営委員会での提案

議長から議員定数の削減問題について、一部議員から申し入れがあった旨が報告されました。これを受け協議をしたところ、12月定例会で議案を提出する意見と、3月定例会で提出する意見とが出されましたが、この日は結論を出さず、それぞれの会派に持ち帰り協議することになりました。



12月12日

### ●議会運営委員会での議論

12月定例会で議案を提出することが確認されました。人数について、再度各会派に持ち帰り協議の上、もう一度議会運営委員会で調整することを確認しました。



12月15日

### ●議会運営委員会で結論

各会派及び無会派の意見が出されました。人口・面積等の類似団体や、県内各市の例を参考にした意見が多く出され、一部に30人の定数を維持する意見があったものの、概ね20人から24人という範囲に意見が集中しました。この中で調整をした結果、22人で結論が出されました。

12月19日

### ●全員協議会での報告

議会運営委員会での協議結果について、委員長から全議員へ報告がされました。

### ●本会議での議案提出・採決

議会運営委員会のメンバーで、議員定数の条例案が提出され、説明と討論の後に採決を行なった結果、賛成多数で可決されました。

※上記のとおり、次回の一般選挙からは、定数を22人とすることに決まりました。ただし、それ以降、更に次の選挙からは、人口動態等を考慮し、再び定数について見直しをする可能性があります。

### お知らせ

なお市議会だよりでは、議会の中でも意見が分かれたことや、数多くの意見が出されたことを中心に掲載し、そのことに対する市民の皆さんのご意見・ご感想をいただきたいと考えています。どうぞ率直なご意見・ご感想をお寄せください。

なお、議会の会議録については、中央図書館、本府中図書館、田鶴浜図書館、中島図書館、能登島図書館に備えてあるほか、市のホームページでも閲覧できるようになっていますので、ご覧ください。

TEL(0767)53-8433

<http://www.city.nanao.lg.jp>

市のホームページからメール送信することもできます。